



毎日新聞茅ヶ崎北口販売所
〒253-0061 茅ヶ崎市南湖1-1-28
TEL (86)4797 FAX (40)3835

茅ヶ崎の民話上演

茅ヶ崎
民話の会

◎室田の花火(室田)

下野の花火師がキツネに化かされていたのを室田の村人が助けた。お礼に花火の作り方を教わり技術を会得した村の若衆が、現在の松林中学校の所でその腕前を披露。大勢の村人に喜ばれた。



村人に喜ばれた。

◎旭が丘の由来(菱沼)

茅ヶ崎にひばりが丘・美住町・松が丘が生まれるきっかけになった旭が丘。菱沼村生まれの友蔵という人が神のお告げにより移り住んだ土地。



◎日時場所

8月18日(土)午後2時~
図書館第二会議室

問合せ先 (86)8749 江目

汐風のひとりごと

伊藤要次
昭和12年東京生まれ。80歳。
横浜で34年間
教師を勤める。
定年退職後
タレント経験有。
茅ヶ崎市在住。



【◎絶対に許されることではありません】

「胸触っていい?」「手しばっていい?」「キスしていい?」
こういう言葉を男性が女性に言ったら、「セクハラ」発言になります。こうした言葉を財務省の事務次官が取材に訪れた女性記者に投げつけたのです。財務省は官庁の中の官庁と言われる最強官庁です。その財務省の事務次官と言えば役人の中ではトップに位置する役人です。こういう人間が事もあろうにセクハラ発言をしたのですから、私は驚きました。セクハラ発言はどんな立場の人間であろうと絶対に許されることではありません。セクハラはセクシュアル・ハラスメントの略で性的いやがらせを意味します。

ところで、私は妻と結婚するまで東京の柳橋に住んでいました。柳橋は私が住んでいた頃は華やかな花街でした。しかし今では近くの横山町や馬喰町の間屋街に押されて、往時の面影はすっかり失せてしまいました。

私が中学生の頃だったでしょうか。或る日の夕方、若い芸者さんが綺麗に着飾ってお料理屋さんに入っていました。母はその姿をじっと見つめていました。そして翌朝、その若い芸者さんはワンピース姿になってお料理さんの勝手口から出てきました。母はそれを見て芸者さん呼び止めました。

「姐さん、タベは大変でしたね。ちよって寄っていかない?何も無いけどご飯を食べていかない?」

「おばさん、いつもありがとう。折角だからいただいていくわ。」

私は若い芸者さんがなぜタベ大変だったのか分かりませんでした。長じてやっと分かりました。それ以来、女性は本来か弱いので大事にしなければいけないと思うようになりました。戦後強くなったのは靴下と女性だと言われ、確かにそういう面もあると思います。でもやはり女性は大事にしなければいけないという私の思いは今も変わりません。ましてや財務省の事務次官という一角の人物がセクハラ発言をするとは言語道断です。潔く自分の非を認めればいいものを実に歯切れの悪い受け答えでした。女性記者が所属するテレビ局はセクハラ発言があったことを確認して財務省に抗議しました。野党は財務大臣の辞職を求めて国会の審議を拒否しました。梅雨が明けた今も国会は空転しています。その後、財務大臣はセクハラ発言を認めました。事務次官も辞職しました。退職金も多少減額されて支払われます。でもこれでいいのでしょうか。読者の皆様、どこかおかしくありませんか?私は教師として勤務していた頃には、子どもたちに「正直者が馬鹿をみる世の中にしたくない」と諭しました。教え子たちは今もそのことを覚えてくれています。この財務省の不祥事も国民が馬鹿にされているのです。森友問題も加計問題も、公文書の改ざんも未だに真相は明らかにされていません。加えてこのセクハラ発言です。外国の方々は日本のこの事態をどう見ているのでしょうか。少なくとも先進国と言われる国の所業ではありません。やはり日本の政治は三流だと言わざるを得ません。そんな政治家たちを選挙で選んだ私達国民も残念ながら三流でしょう。記者会見で「お前」とか「俺」と言う財務大臣、私には実に品の無い人間だと思われるのですが、読者の皆様はいかが思われるのでしょうか。

「真相を明らかにせず 政界の 深まる闇に 民離れゆく」



毎日の本棚



島のエアライン 上・下巻

黒木 亮 : 著 定価: 本体 各1500円(税別)

《上巻》人口15万人の島が、85億円の空港を建設し、自前の飛行機を飛ばす!? たった一機で地方の生活・医療・観光を支える、熊本・天草の小さな航空会社の苦難と挑戦の物語。異色の実名ノンフィクション・ノベル! <四六判/336頁>
《下巻》次々とトラブルに見舞われ倒産が現実味を帯びる「天草エアライン」。関係者たちは「島の翼」をどう守るのか!? 圧巻の完結編! <四六判/352頁>



ハタからみると、日記

光浦靖子 : 著 定価: 本体1400円(税別)

妄想はたのしい!
アラフォーでたどり着いた境地を包み隠さず綴った8年ぶりの最新エッセイ!
独身・もてない、老後が不安、などなど、自信を失いがちになっても、このエッセイを読めば大丈夫!
読後じわじわ効いてくる、漢方薬のようなエッセイ集。
<四六判/208頁>



毎日新聞出版の最新刊から厳選! ご注文は茅ヶ崎北口販売所まで

かながわの公園50選

②保土ヶ谷公園(横浜)

平成6年3月に県が選定した公園を掲載します。同じ番号に2ヶ所登録されている場合もあり、実際には55ヶ所あります。Mx毎では分けて掲載するため55番までとなりますのでご了承ください。

県内で初めて造られた運動公園。高校野球予選が行われる野球場や、サッカー場、ラグビー場、テニスコートなどのスポーツ施設が整っている。また、季節ごとにウメ、サクラ、イチョウ並木が美しいことでも知られている。広場や遊具が大変充実していて、親子で楽しめる公園として人気だ。毎年7月第2土曜~8月末日には、25mプール、ウォータースライダー、噴水プール、遊具プール、幼児用プールの5つのプールがオープンする(料金:中学生以上310円、小学生以下110円)。また、8月最後の土曜日には「巡りゆく夏に感謝し 祝い 見送る」をテーマに「キャンドルナイト」を開催。夕暮れ時、梅園を中心とした一帯に約5000個のキャンドルの炎が浮かび上がる。和楽器の調べと美しい光の幻想的な空間を体感しに、一度はぜひ訪れてみたいものだ(入場無料)。

〔交通〕JR保土ヶ谷駅西口から横浜駅西口行きバス12分→保土ヶ谷野球場前下車

〔駐車場〕普通車384台 最初の1時間210円(以降110円/30分)最大1000円

〔問合せ〕保土ヶ谷公園管理事務所 TEL.045(333)5515

